

プロセス安全成績の評価

2008年8月

Beacon7月号で「プロセス安全」の意味について論じた。そして、傷害率、休業災害等などの伝統的な安全成績の尺度は、プロセス安全の実績を表す尺度としては適切ではないとも述べた。それでは、実施しているプロセス安全管理活動が効果的かどうかを、どのように説明できるだろうか？成績が年々良くなっているかどうかを、どのように説明できるだろうか？一つのプラントまたは、プラントの中の設備が他と比べてどのような実績なのかをどうしたら判るだろうか？より良くするために、注意をどこに集中すべきかをどうしたら決められるだろうか？もし、伝統的な安全の尺度がプロセス安全成績の管理指標として良くないならば、適切な新しい尺度を創り出す必要がある。CCPSを含む多くの産業団体は、プロセス安全成績を測る新しい手法を開発するために積極的に活動している。しかし、これらの手法は、もし、プロセス工業で働くすべての人がこれらが何であるか、なぜ必要とされるかを理解しない限り有効とはなりえない。そして、一番重要なことは、どの新しいプロセス安全測定手法を用いる場合においても、吾々皆が自身の役割を認識していなければならないことである。どのような種類の出来事を報告する必要があるか、そして、組織内においてどのように報告するかを理解する必要がある。



知っていますか？

- CCPSは、多くの産業団体、労働団体、政府機関と協力して、プロセス安全成績を測定する手法を開発してきた。特定の手法を推奨する報告書が2007年12月に出版され、CCPSウェブサイトで見ることができる。(<http://www.aiche.org/ccps/>)
- 二つの尺度が提案されている。遅行指数 (Lagging indicators)、これは現在の結果と過去の成績(今迄に起こったプロセス安全の事故数)を評価する指標と、先行指数(Leading indicators)、これはプロセス安全活動を評価し、未来の成績を予測するのに便利であると考えられている指標である。
- 遅行指数は、例えば、設備機器からの危険な物質やエネルギーの放出回数、火災および爆発の数、プロセスに起因する人身事故数を尺度とする。
- 先行指数は、例えば、プラント機器の完全さ、実行項目の徹底、変更管理、プロセス安全訓練などを尺度とする。

あなたにできること？

- 自分の会社はプロセス安全成績を測るのに、何をしているかを認識すること。自分の会社が用いている特定の手法を勉強し理解すること。
- 自分の会社のプロセス安全管理計画では、どんな種類の事故を報告する必要があるかを認識すること。
- 自分のプラントでのプロセス安全に関する事故を報告する方法に精通すること。
- 事故報告をこまめに出すこと。もし、会社がプラントで起こっている事故について知らなければ、会社はプロセス安全成績を向上できないことを、念頭におくこと。
- 自分のプラントにおける、プロセス安全の先行指数と、それらの報告の方法を理解すること。
- プロセス安全成績の尺度に関するCCPS報告書をダウンロードして読むこと。

あなたの組織はプロセス安全成績をどのようにして測っていますか？

AIChE © 2008. 不許複製 非営利的な教育目的のための複写は奨励する。ただし、再販目的のための複写は、CCPS以外のいかなる者に対しても禁止する。コンタクト先は、ccps_beacon@aiche.org または 212-591-7319